



2025
11

MAEZAKI

ウミガメと
共に生きる
—地域でつなぐ命—



ウミガメと

共に生きる

ー 地域でつなぐ命 ー

御前崎には、地域や学校が力を合わせて守り続けてきた命があります。半世紀にわたり続くウミガメの保護と飼育は、自然と共に生きるまちの誇りとして、住民に受け継がれています。



国指定天然記念物
「御前崎のウミガメ及びその産卵地」

下岬区と薄原区の海岸の一部が指定されている。他の指定地は徳島県海部郡美波町。国の天然記念物には指定されていないものの、沖縄県や鹿児島県、高知県、宮崎県などでも多くの産卵が確認されている。



▶ウミガメの産卵

＼ウミガメの生態～産卵の仕方～／



波打ち際で上陸場所を探して、安全を確かめてから上陸。人影を見つけると海へ帰ってしまう。



左右の後ろ足をシャベルのように使って直径20cm、深さ50cmくらいの穴を掘る。



平均120個の卵を産む。卵はピンポン玉くらいでヨロヨロしている。



「右前足、左後ろ足」「左前足、右後ろ足」というように砂をかける。最後に前足で平泳ぎのようにして砂をかけ、どこに産卵したかわからないようにする。

一方、本市に産卵のため訪れる「アカウミガメ」は、世界的に見ても、個体数の減少が著しく、絶滅危惧種として、国際自然保护連合が作成するレッ

の海岸が「御前崎のウミガメ及びその産卵地」として、国の天然記念物に指定されました。

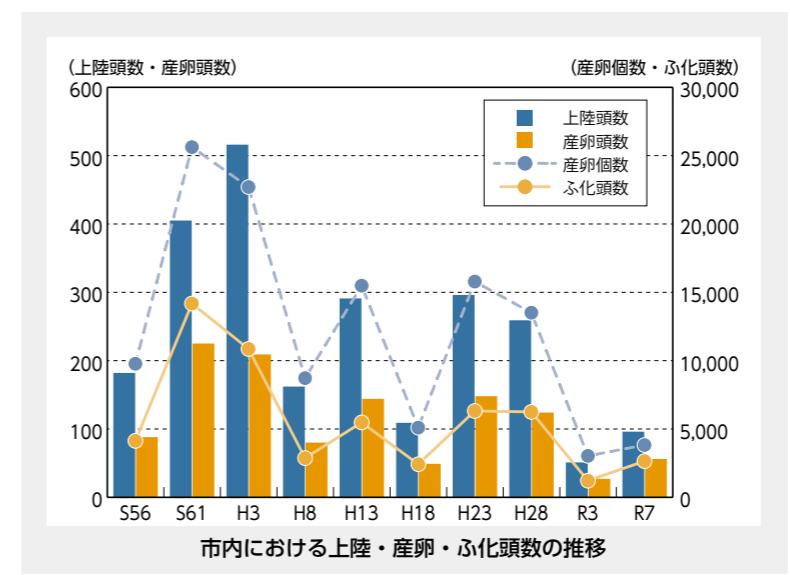
御前崎の海岸は、多くのウミガメが産卵に訪れる日本の北限地にあります。昭和55年3月には、学術的に貴重であることがわかりました。昭和52年から児童によるウミガメの飼育活動が続いている。

御前崎とウミガメの関係

ドリストに掲載されています。

そのウミガメの保護を目的に、

昭和47年、御前崎町教育委員会は「ウミガメ保護監視員」として2人を委嘱しました。活動は50年経った今でも続いており、延べ32人の監視員が命をつなぐ活動に従事してきました。また、御前崎小学校でもウミガメを知り、守っていくことを目的に、昭和52年から児童によるウミガメの飼育活動が続いている。



※昭和56年から平成19年までは御前崎地区のみ計測。平成20年以降は浜岡地区も含めた数値。

ウミガメの命を一つでも多く守る

市教育委員会は現在、8人をウミガメ保護監視員として委嘱しています。

監視員は、5月から8月までの産卵シーズン中、毎朝4時から5時かけて担当区域を巡回し、砂浜に残るウミガメの足跡から産卵場所を探します。産卵跡を見つけると、高波やキツネに埋め直します。地温が高くなりすぎたり、冷たくなりすぎたりするのを防ぐため、水をかけりするなどの管理をしています。卵に埋め直します。地温が高くなればふ化するまでには約2カ月間かかり、8月から10月までのふ化シーズンは、早朝の海岸巡回に加え、当番制で朝と夜にふ化場を巡回しています。

守りつなぐ命

今年度は、新たな方法として「自然ふ化」にも取り組みました。ウミガメの性別は、「砂中温度が29度付近を超えています。

生命の連鎖は、自然の摂理のもとで続いてきたもの。本来は人の手が加わらないことが理想といえます。しかし、監視員の保護活動によって守られた命があることも、確かな事実です。監視員は、ウミガメの命を未来へつないでいくため、国内外から情報を収集し、自然の摂理を尊重した取り組みに挑戦しています。

御前崎市ホームページ
「御前崎のウミガメ」



令和7年3月には、本市の保護活動などをまとめた「御前崎市ウミガメ保護マニュアル」を作成しました。

同じ場所での卵の管理は、性別が偏る恐れがあるため、15個の巣穴を自然ふ化で見守り、約千頭の子ガメを誕生させました。

ウミガメを取り巻く自然環境は急速に変化しており、近年、世界的に産卵頭数が激減しています。本市も例外ではなく、令和3年度には過去最少の産卵頭数26頭を記録。本年度は、上陸95頭、産卵55頭、ふ化2647頭となっています。



子ガメ供養祭
(5月)

上陸・産卵確認
(5月~8月)

保護活動見学会
(7月)

ふ化確認
(8月~10月)

卵の掘り起こし
(10月)

前年度にふ化できなかつた卵やすぐに亡くなってしまった子ガメを供養するとともに、本年度の活動の安全を祈念する。

毎朝4時、担当区域を巡回し、ウミガメの足跡を探す。産卵を確認したら卵を掘り起こし、ふ化場へ埋め直す。

啓発活動として、早朝巡回の見学会を実施。運が良ければウミガメや前日夜から当日朝にかけて産卵された卵と遭遇できるかもしれません。

初産卵から約2カ月後、ふ化シーズンへ入る。朝晩の巡回時にふ化を発見したら海へ放流する。子ガメは、海に向かって一斉に歩みを進める。



御前崎市ウミガメ保護監視員会
良知 正美 代表(塩原)
愛知県から移住後、保護活動に携わり、今年で20年目。

みんなで支えるウミガメの未来

ウミガメに迫る脅威

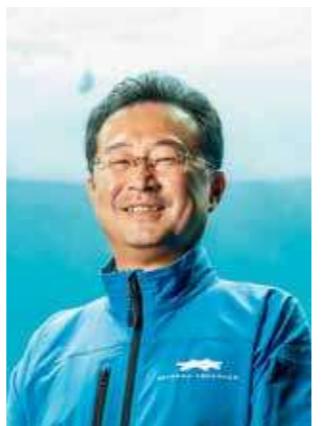
全てのウミガメ類は、「ワシントン条約の附属書I」に掲載され、輸出入が禁止されています。ウミガメの成長はゆっくりで、成熟するまで約40年かかるため、個体数が減ると回復に長い年月を要します。かつては乱獲が脅威でしたが、今では漁業による混獲や海岸開発、砂浜侵食、光害など人の暮らしと関係するさまざまな要因が影響しています。

近年の気候変動も、ウミガメに深刻な影響を与えていました。温暖化が進み、砂中温度が高くなるとメスばかりが生まれ、繁殖が難しくなる恐れがあります。砂の温度が上がり過ぎれば、ふ化そのものが難しくなることもあります。さらに、海面上昇によって産卵場所である砂浜が失われる危険性もあります。

協議会では、上陸や産卵の調査を続け、漁業や海岸開発など

の関係者と協力しながら、脅威の軽減に取り組んでいます。課題は人・モノ・お金の不足ですが、地域の理解と協力があれば、きっと乗り越えられるはずです。

御前崎が育む安全な海岸



▲日本ウミガメ協議会
ホームページ

特定非営利活動法人日本ウミガメ協議会
松沢 慶将 会長

京都大学農学部で水産学を専攻。経験のために始めたウミガメ産卵生態調査と日本ウミガメ会議に集う「ウミガメ屋」たちの魅力にはまる。和文誌「うみがめニュースレター」編集長、国際ウミガメ学会会長などを歴任。

日本ウミガメ協議会

1990年、日本各地でウミガメの調査に関わる人たちによって設立された。調査・研究結果を基にウミガメやウミガメを取り巻く生態系全体を保全できる効果的な方法を模索している。

こんなときはどうしたらいい？

ウミガメと遭遇した！

光で照らさない
静かにその場を離れる

親ガメは特に警戒心が強く、些細な刺激(光や音)で産卵を諦めて、海に帰ってしまう可能性があります。

ウミガメや産卵を見てみたい！

ウミガメを守るために見に行かないようにしてください

ウミガメはデリケートな生き物です。また、産卵が多い夜の海は暗くて危険を伴うので、見に行かないようにしてください。

足跡や産卵床を見つけた！

卵を採掘しない

卵の採掘は法律により禁じられており、違反すると罰則対象となります。監視員が保護していますが、万が一発見した場合は社会教育課までご連絡ください。

死んだウミガメを砂浜で見つけた！

社会教育課へご連絡を

市職員や監視員が現地へ出向き、埋葬します。
社会教育課
☎0537 8735

こんな小さな体で大海原を生きていくのか。初めて子ガメを放流したときのことは忘れられません。私が監視員になってからの20年間で、ウミガメを取り巻く環境は大きく変わりました。自然が相手なので、私たちの力だけでどうにができる限りのことを続けていきたいと思っています。これからは、時代や環境に合わせた活動を考えいく必要がありませんが、できる限りのことを続けていきたいと思います。今年は自然ふ化に挑戦しました。ふ化した子ガメの中には、街灯の明かりに誘われて海とは反対側に歩いていってしまう個体もいて慌てて救出しました。ウミガメにとってより良い環境を整えて保護活動をもっと多くの人に知ってもらいたいです。命の尊さや環境を守ることの必要性を考えるきっかけになればうれしいです。



御前崎小学校 5年生
赤澤 知哉さん(上岬区)

エサをうれしそうに食べててくれる姿がかわいくて、見ているだけで癒されます。でも、ブラッシングは少し苦手なのか足をじたばたさせてるので少し苦戦します。飼育を始めて1ヶ月ほどですが、最初は黒かった甲羅が少し赤黒くなってきて、「大きくなつたなあ」と成長を感じます。飼育を大変だと思ったことはあります。毎日お世話をしていると、小さな変化にも気付けることがうれしいです。放流するときには、もつと大きく成長しているはず。元気に海へ帰って、強く生きてほしいです。

落ち込んでいるとき、子ガメを見ると自然と笑顔になれます。子ガメは僕たちに元気をくれる大切な存在です。きっと大人になつても、この経験をずっと覚えていると思います。

ウミガメの飼育活動は教育の中核 教室では子どもらしさを感じる児童ですが、カメ小屋で世話をする姿はグッと大人らしさを感じさせます。自発的かつ自立的な活動の中で、責任感が養われているのだと思います。

放流時には、児童の表情からウミガメの成長へのうれしさと寂しさが入り混じった感情が見られます。生命を大切にする心や海を綺麗にしようとする心、飼育をやり遂げた誇らしさなど飼育活動で得られるものは、他に代えがたいものです。また、地域や保護者の理解と協力は、48年間の積み重ねで得られた賜物でしょう。

飼育活動は、本校の学校教育の中核を担っています。これからも学校と地域でオンラインのウミガメ飼育活動を続けていきたいと思います。



47年前、観察クラブとして飼育
牧野 敏和さん(白羽区)

カメは笑顔してくれる大切な存在

ウミガメの飼育活動は教育の中核 小学5年生のとき、河原崎先生とウミガメ観察クラブでウミガメの飼育をしていました。当時の観察クラブは4~5人。放課後のエサやりを忘れて、夕食中に先生から「カメはまだご飯を食べていないよ」と電話がかってきたことを今でも覚えています。振り返ると、飼育活動の中では自然と命の大切さを学んでいたように思います。

22歳から10年間は先生の誘いで、監視員を務めました。当時の子どもが大人になり、その子どもも飼育活動を経験しています。活動の輪が今もつながっています。地域でウミガメや自然環境を守っていることを実感します。47年前の命の学びが、今も形を変えながら受け継がれることを思うと、とても嬉しく、誇らしい気持ちになります。

＼御前崎小学校のウミガメ飼育に協力／



秋野 友美さん
ホワイトハウス(牧之原市)
エサや水温の指導、設備メンテナンスなどを支援



伊村 洋之さん
(大山区)
水槽の清掃やエサ作りを支援



松林 義樹さん
(上岬区)
水槽用の海水を市場から運搬



大石 有佳子さん
(上岬区)
水槽清掃を支援



NOK株式会社
(牧之原市)
令和7年9月に水槽用のろ過装置を寄付

活動の輪は今も続いている

1_本年6月、放流直前の成長した子ガメの甲羅をブラッシングする児童／2_休日も欠かさず実施されるカメ当番。日誌へ飼育項目に漏れがないか、子ガメに異変がないか、書き込んでいく／3_飼育方法を支援してくれているアクアショップ・ホワイトハウスの秋野さんから教わった配合で生魚や栄養剤を混ぜ合わせ、エサを作る／4_昨年9月から飼育してきたカメを6月10日に放流した



48年間続く命の教室

御前崎小学校では、児童が違う全国的に珍しい活動に取り組んでいます。

この活動は、昭和52年に「ウミガメ観察クラブ」として始まりました。発案者は、のちに「ウミガメ先生」と親しまれ、監視員も務めた同校の河原崎芳郎先生です。第二次世界大戦の出征を経験し、「生きることの尊さ」を実感していた河原崎先生。「ウミガメ先生奮闘記—アカウミガメを追つて—」(昭和56年発行)には、「安心して産卵できる環境を作りたい。ウミガメを知ることで関心が高まり、ウミガメを守りたい気持ちにつながるはずだ」という思いが記されています。

現在は、「カメ当番」と名を変え、9月に監視員会からふ化したばかりの子ガメを受け入れ、学級の活動として飼育しています。4年生合わせて54人の児童によるカメ当番。昼休みになると、当番の児童は運動場横のカメ小屋へ駆け足で向かい、水温や塩分濃度を測ったり、エサを作って食べさせたりします。休日も保護者の協力を得ながら世話をします。

活動は世代を超えて受け継がれ、今年で48年目。6月には、大切に育てた子ガメを両手に抱え、「また帰ってきてね」と声をかけながら海へ放流します。約9ヶ月の飼育を通じて、子どもたちの心にはウミガメを守る気持ちや地域への愛着心が育まれています。



◀実寸大の子ガメ。本年度は9月18日にウミガメ保護監視員会から前日にふ化した10頭の子ガメを受け入れた。放流するところには20cmほどまで成長する。

育て、学ぶ命の尊さ

安心して産卵できる海岸を守るために

人々の暮らしによる海への影響

かつて広々としていた御前崎の砂浜は、今少しづつ姿を変えています。68年前と比べると、波の力や地形の変化などといった多くの要因により、砂浜の面積は年々せまくなっています。砂浜は、ウミガメが産卵に訪れる大切な場所です。きれいな砂浜と静かな環境が保たれることで、ウミガメは安心して産卵することができます。



1957年当時の御前崎海岸

ビニール袋やペットボトルのキャップなどは、やがて海へ流れます。ビニール袋などをクラゲと間違えて食べてしまつたウミガメが、消化できずに命を落とす例もあります。こうした海洋ごみは、その約8割が陸から出たもの。人々の暮らしの影響で海の環境は傷ついています。



現在の御前崎海岸

ウミガメの未来を守るために

市内では、行政や学校、市民団体が中心となって海岸清掃や啓発活動などの環境保全に取り組んでいます。毎年、産卵シーズン前の5月上旬に実施され、昭和45年の開校以来、55年続く伝統となっています。

御前崎で生まれたウミガメが夜の砂浜にライトを向けないなど、小さな心がけがウミガメの未来を守ります。ごみを出さない・持ち帰る、安心して帰ってこられるように、私たちひとりひとりができる行動から始めましょう。



死んだウミガメの胃袋から発見されたプラスチックごみ
(提供:日本ウミガメ協議会)

組んでいます。御前崎中学校では、「亀バックホーム大作戦」と称した海岸清掃が実施されています。

5月上旬に実施され、昭和45年の開校以来、55年続く伝統となっています。毎年、産卵シーズン前の5月上旬に実施され、昭和45年の開校以来、55年続く伝統となっています。

組んでいます。

2 生活排水に注意する

調理ごみや油を、シンクに流さずふき取ってごみとして処分することで、海洋汚染を防ぎ、豊かな海を守ることができます。環境に配慮された洗剤の使用も効果的です。廃油は市で回収しています。

回収場所 市民課、御前崎支所



私たちにできること／

1 ごみを出さない・捨てない・拾う

陸でポイ捨てされたごみは、雨や風などにより川や排水路を通り、海へ流れきます。「出さない・捨てない・拾う」でごみのないまちを目指しましょう。



市は、「御前崎マイボトルプロジェクト」として、オリジナルボトルを作製しました。売上金の4%(80円)は御前崎の海を守る活動に募金されます。

デザイン 市内在住アーティストJiroさん
販売場所 御前崎渚の交番、道の駅風のマルシェ御前崎、観光物産会館なぶら館、海鮮なぶら市場、イタリアンジェラート・マーレ

御前崎渚の交番では、市内で開かれる海岸清掃やリサイクル活動をまとめた「御前崎市環境カレンダー」を作成。気になる活動をチェックしてみよう！



ウミガメが安心して帰ってこられる環境を守りたい

楽しみながら守る 未来へつなぐ御前崎の海



NPO法人
Earth Communication
川口 真矢 代表(新谷区)



久々生海岸で環境調査や生き物観察会などの啓発活動を実施し、海岸保全に取り組んでいます。9月には、国の「自然共生サイト」に認定されました。楽しみながら、子どもから大人まで一緒に、美しい御前崎の海を未来へつなげていきたいです。



問合先 川口 真矢
☎ 090(5636)0227

ごみ拾いをきっかけに まちのことを考えてみてほしい



OMAEZAKI
BEACH CLEANUP
中山 琴乃さん(中町)



毎日一人でごみ拾いをしている人たちを見て、私にできることを考えた結果、海岸清掃グループを立ち上げました。みんなと月1回ならできるかも、その思いからでした。ごみ拾いをきっかけにウミガメや地域、環境問題などに目を向けてほしいです。

活動日時 不定期(毎月1回)
※ホームページをご確認ください。
問合先 中山 琴乃 ☎ 080(9119)2377



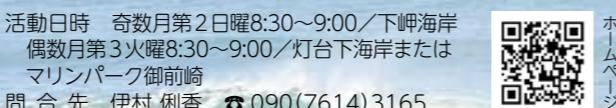
ウミガメが来る海は 御前崎の誇り



心がすっきり御前崎で夢拾い
伊村 俐香 さん(大山区)



海洋ごみは拾っても拾っても毎日流れ着いてきます。果てしない作業ですが、「今拾わなければまたどこかの海岸に流れ着いてしまう。今が拾うチャンス」とポジティブに捉えています。ウミガメが来る海は御前崎の誇り。守っていくべきものだと思います。



ウミガメのために何ができるのか 考える必要がある



私生活では、本年度から監視員として従事



御前崎渚の交番
増田 洋樹 さん(中原区)

水上オートバイでのパトロールの際には、水面に浮いているごみを拾うなど、海を守る活動に取り組んでいます。本年度からは監視員となり、ウミガメと住民との強いつながりを改めて感じました。ひとりひとりがウミガメを守るために何ができるか考える必要があると思います。

活動日時 不定期(毎月1回)
※ホームページをご確認ください。
問合先 御前崎渚の交番 ☎ 0548-99927





1_飼育している子ガメを愛おしそうに見つめる児童／2_早朝、御前崎海岸に上陸し、海に帰っていく親ガメ／3_6月15日に広沢区の海岸で今シーズン初の産卵を確認。8月14日に128個の卵から92頭の子ガメが初孵化した／4_7月12日から21日にかけて5日間開かれた保護活動見学会には県内外から168人が参加。卵の掘り起こしの模擬体験をする参加者／5_令和5年7月、御前崎小学校開校150年を記念し、当時の5・6年生が塗装のボランティア団体「NPO法人塗魂ペインターズ」の協力を得て、御前崎の風景を施したカメ小屋／6_5月から10月の早朝巡回後に孵化場で開かれる監視員の定例会。巡回活動は個々で実施されるため、月に2回集まり、情報を共有する



ウミガメの保護を通じて御前崎で育まってきた 「命を大切にする文化」

【特集】ウミガメと共に生きる
—地域でつなぐ命— 終

監視員の見守りや児童の飼育活動、住民の清掃・啓発など、ウミガメを守るために活動は、今も止まることなく続いている。牧野さんが話したように、「ウミガメを守りたい」という思いと活動の輪は、大人から子どもへと子どもからそのまま子どもへと受け継がれてきました。海岸の形が変わっても、ウミガメの数が減っても、この思いと活動の輪は受け継がれています。御前崎では、長い年月をかけて「命を大切にする文化」が育まれてきたのです。ウミガメと人が共に生きる風景は、御前崎が誇るべきもののひとつです。私たちの行動は、人間社会だけでなく、自然環境などにも大きな影響を与えます。文化や環境問題に目を向けるときっと新たな気づきがあるはずです。そして、行動し、互いの調和になげていくことが大切です。

人々の手で守られ、心に受け継がれてきたこの文化を次の世代へ。ウミガメが御前崎の海に帰つてこられるように。これからも、ウミガメと御前崎との歩みは続いていきます。

第26回しづおか市町対抗駅伝大会が12月6日(土)10時にスタートします。

選手は、県庁本館前から県営草薙陸上競技場までの42.195kmを

12人でたすきをつないでいきます。

日々練習に励んできた選手たちを、みんなで応援しましょう。

照会 社会教育課 ☎ 0537 8735



40歳以上 横田 勇人さん
中部電力株式会社
40歳以上 西原 哲也さん
スペラネクサス
一般男子 渡邊 康介さん
中部電力株式会社
一般男子 植田 航生さん
芝浦工業大学3年
一般女子 丸尾 ミカさん
ウエルシア
一般女子 沖 千都さん
亜細亜大学4年



高校生男子 牧野実斗さん
池新田高3年
高校生男子 長島 駆流さん
藤枝明誠高2年
高校生女子 漢人ひかりさん
常葉菊川高3年
中学生男子 斎藤 葵さん
御前崎中3年
中学生男子 長島 陸人さん
浜岡中2年
中学生男子 藤田 健希さん
浜岡中2年



中学生女子 内田あかりさん
雙葉中2年
中学生女子 斎藤 澄花さん
御前崎中2年
中学生女子 高田 瑞阿さん
浜岡中2年
中学生女子 増田 朱南さん
浜岡中1年
小学生男子 神谷 璃斗さん
第一小6年
小学生男子 富岡 蒼太さん
第一小6年



小学生男子 村尾 優莉さん
第一小6年
小学生女子 吉村 知恵子さん
第一小6年
小学生女子 匂坂 美徳さん
第一小5年
監督 大橋 昌弘さん
株中部プランツサービス
コーチ 藤田 賢美さん
池新田高等学校

第1区	第2区	第3区	第4区	第5区	第6区	第7区	第8区	第9区	第10区	第11区	第12区
中・高校生 (女子)	小学生 (男子)	小学生 (女子)	中・高校生 (女子)	高校生 (男子)	40歳以上 (男女不問)	中学生 (男子)	中学生 (女子)	小学生 (男女不問)	一般 (女子)	中・高校生 (男子)	一般 (男子)

県庁 二之丸橋 二之丸橋 長谷通り JA静岡市 鳥坂 清水六中 袖師生涯学習 清見潟公園 神屋 清水区役所 清水七中 草薙
本館前 西草深町交差点 あさはた支店 自治会館 交流館 陸上競技場

し ズ お カ
市 町 対 抗 駅 伝

12.6
SAT 10:00 START



御前崎市は、静岡県最南端の岬のまちです。漁業が盛んで生カツオの水揚げ量は全国でもトップクラスを誇ります。また、日本屈指の日照時間と温暖な気候を生かした農業も盛んな地域です。

物流やエネルギー基地としての基盤も整備されており、商工業が盛んな地でもあります。御前崎港には5万トン級の大型コンテナ船が接岸できる多目的国際ターミナルがあり、世界各地とコンテナ航路がつながっています。

御前崎市の市章は「O」と「O」を図案化したもの。ブルーは遠州灘、オレンジは太陽、太陽へ向かう白地の形は先進性を表し、市民の協力と情熱で世界へ発信するイメージを表しています。

CONTENTS

まちの元気応援マガジン
広報おまえざき No.259 14.November.2025

002 地域でつなぐ命 ウミガメと共に生きる

013 しづおか市町対抗駅伝選手紹介

014 おまえざきくらしのダイアリー

016 まちかど探訪

新規消防団車両でまち守る / 地域の職場で働く喜び体感 / 小さな子ガメを受け入れる / 給食戦隊 5大栄養レンジャー / 下水神社のしめ縄8本新調 / 交通安全の願いを込め宣誓 / 雑がみをリサイクルしよう / 高塚きよさん 100歳の祝い ほか

020 Series

おまえざきレシピコンテスト受賞作品/ECOタネ
学び舎の窓から

022 おまえざきのきらり輝く人

第80回関東合唱コンクールで銀賞を受賞
山口 愛可さん・河守 茉莉さん・戸塚 凜さん

023 令和8年4月から水道料金下水道使用料を改定します

024 確定申告はマイナンバーカード×e-Taxでさらに便利！

025 情報掲示板

リサイクル・ブック・フェア雑誌の部を開催 / 令和8年はたちの集いを開催 / 静岡県の最低賃金が改正 / 若い世代の健康診査U-39 健診予約受付中 / 婦人科がん検診日程を追加 / 職場のトラブルで悩んでいませんか? / 11月・12月は税の滞納整理強化月間 / 特殊詐欺対策と終活セミナーを開催 / 中央美術協会会員努力賞油絵の展示 / フーバ大会参加者を募集 ほか

028 かわいいおまえざきのたから / 食のまち御前崎

11月の表紙

大きくなつて御前崎の海に帰ってきてね

御前崎小学校では、ウミガメの飼育が48年間
続けられています。本年の放流は6月10日に
実施され、「元気に生きてね」「御前崎に帰ってきて
ね」と笑顔で声援を送りました。

御前崎市の
人の動き
(令和7年10月末日現在の速報値)

	(前月比)
人口	29,306 (-19)
男	14,924 (-13)
女	14,382 (-6)
世帯数	12,185 (+5)

12

December 2025
Omaezaki city
Useful Calendarおまえざき
くらしの
ダイアリー

今月の納期
(コンビニで納付できます)
国民健康保険税(第6期) 12月25日
※後期高齢者医療保険料(第5期) 1月5日
※介護保険料(第5期) 12月25日
→※コンビニ払い不可
池新田・高松の上下水道料 12月25日

●消費生活相談
9:00~17:00
月~金曜日(祝日を除く)
商工観光課 ☎0537⑧1135

●母子手帳の交付 ▶市役所西館
毎週火曜日 9:00、10:00
毎週木曜日 13:00、14:00
予約制 こども未来課 ☎0537⑧6666
※他日時はご相談ください

●高齢者の介護・認知症に関する相談と問い合わせ
地域包括支援センターはまおか ☎0537⑧1167
地域包括支援センターおまえざき ☎0548⑧6857

平日夜間、日曜・祝日の急患診療
▶小笠掛川急患診療所
☎0537⑧1299 掛川市杉谷南1丁目1-30
受付時間 19:00~21:30(平日)
9:00~16:30(日・祝・12/29~1/3)
※交通事故と労災の診察はお受けできません。

日曜・祝日の急患診療
▶榛原医師会

診療時間 9:00~17:00(日・祝)
当番医はカレンダー内に記載

※日曜・祝日・夜間診療については、
ご連絡の上、受診してください。

休日歯科診療

▶小笠掛川急患診療所
☎0537⑧1299 掛川市杉谷南1丁目1-30
受付時間 9:00~11:30(日・祝・12/29~1/3)

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
30 友引	1 先負	2 仏滅 精神保健福祉総合相談【要予約】 ☎0537⑧3263/13:30~15:00 西部健康福祉センター掛川支所	3 大安 特設人権相談 ☎0537⑧8066/受付13:00~15:00 浜岡福祉会館 特設人権相談 ☎0548⑧5294/受付13:00~15:00 ふれあい福祉センターなごみ	4 赤口 もふもふ(R7.8月・9月生) 受付8:45~9:10/ 市役所西館3階 薬物・アルコール・ギャンブル依存相談【要予約】 ☎054(286)9245/13:00~16:00 県静岡総合庁舎	5 先勝 3歳児健康診査(R4.8・11月生) 受付12:45~13:10/ 市役所西館3階 障がい等地域生活相談室【要予約】 ☎0537⑧1121/9:00~16:00 西館相談室	6 友引
7 先負 石井内科皮膚科医院(内・小) 牧之原市静波248 ☎0548⑧0013 御前崎市地域防災訓練	8 仏滅 1歳児健康相談(R6.10月・11月生) 受付8:45~9:10/ 市役所西館3階 ひきこもり・不登校相談【予約可】 受付0537⑧8066/13:30~16:00 浜岡福祉会館 薬物・アルコール・ギャンブル依存相談【要予約】 ☎054(286)9245/13:00~16:00 県静岡総合庁舎	9 大安	10 赤口 弁護士・司法書士・心配ごと相談 受付0537⑧8066/13:00~15:00 浜岡福祉会館 権利擁護相談【要予約】 ☎0548⑧5294/13:30~16:30 ふれあい福祉センターなごみ 移動交番活動(菊川警察署) ☎0537⑧0110/9:00~11:00 新野地区センター	11 先勝 すくすく相談(旧こどもの健康相談) 受付9:00~10:00/ 市役所西館3階 HIV・B・C型肝炎・梅毒・HTLV-1【要予約】 ☎0538⑧2253/9:15~11:00 県中遠総合庁舎西館 1階	12 友引 こころの健康相談日【要予約】 ☎0537⑧1121/13:30~16:30 市役所3階	13 先負
14 仏滅 座光寺医院(内・小・消内) 御前崎市白羽5243-3 ☎0548⑧3206	15 大安 家庭教育支援 あそび塾 ☎0537⑧8735/9:00~11:00 池新田地区センター	16 赤口 だれでも食堂もぐもぐ(加多世) ☎0548⑧5945/17:00~19:00 移動交番活動(菊川警察署) ☎0537⑧0110/9:00~11:00 佐倉地区センター	17 先勝 弁護士相談 受付☎0548⑧5294/13:00~15:00 ふれあい福祉センターなごみ	18 友引 3~4ヶ月児健康相談(R7.8月・9月生) 受付8:45~9:10/ 市役所西館3階 薬物・アルコール・ギャンブル依存相談【要予約】 ☎054(286)9245/13:00~16:00 県静岡総合庁舎	19 先負 2歳6ヶ月児歯科検診(R5.5月生) 受付12:45~13:10/ 市役所西館3階 障がい等地域生活相談室【要予約】 ☎0537⑧1121/9:00~16:00 研修センター 2階	20 大安
21 赤口 渡辺内科医院(内・小) 牧之原市大沢329-1 ☎0548⑧5232	22 先勝 2ヶ月児健康相談(R7.10月生) 受付8:45~9:10/ 市役所西館3階	23 友引	24 先負 もちもちくらぶ(6ヶ月~1歳児対象) 受付9:30~10:00/ 市役所西館3階	25 仏滅 1日ハローワーク / マザーズハローワーク 13:30~15:00/ 市役所3階会議室	26 大安	27 赤口
28 先勝 石井内科皮膚科医院(内・小) 牧之原市静波248 ☎0548⑧0013	29 友引 渥美医院(内・小・循・胃) 牧之原市波津1丁目41-1 ☎0548⑧0583 市役所閉庁日	30 先負 えのきだクリニック(消内・内) 牧之原市細江3821-1 ☎0548⑧3633 市役所閉庁日	31 仏滅 廣瀬医院(内・呼・循・小) 牧之原市相良174-1 ☎0548⑧0006 市役所閉庁日	1 大安 市役所閉庁日	2 赤口 市役所閉庁日	3 先勝 市役所閉庁日

※発行日時点で実施が未決定のものは掲載していません。



ゴミ収集日	東町・本町 早苗町	中町・大山	門屋 塩原・合戸	佐 倉	比木・新野 朝比奈	上岬・下岬 大山・西側	女岩・広沢 新谷・薄原	中原・白羽 白浜・新神子
可燃物	毎週月・木曜日							
金 物	2	16	9	5	19	10	17	3
ガ ラ ス	9	2	16	12	5	17	3	10
ペットボトル	16	9	2	19	12	3	10	17
ビニール・ プラスチック類	ブラマーク あり	金曜日(第2を除く)			水曜日(第2を除く)			月曜日(第2を除く)
陶 磁 器	12	12	12	10	10	8	8	8



新規消防団車両でまち守る

市消防団は9月13日、新たに小型動力ポンプ積載車を配備しました。

これにより、火災や災害発生時の初期対応力を高めるとともに、地域の防災体制の一層の充実を図ります。市消防団の河原崎太輔団長は「地域の安全・安心を守るために、これからも団員一丸となって活動していきたい」と話しました。

◀第8分団(御前崎地区)で活用される新車両



地域の職場で働く喜び体感

浜岡中学校の2年生165人が9月16日と17日に、地域の事業所で職業体験を実施しました。

生徒は、市内の商店や福祉施設、製造業などさまざまな職場を訪れ、実際の仕事を体験しながら働くことの大切さを学びました。たこまん浜岡本店で活動した栗山杏朱さん(下比木)は「大変だったけど、接客業のやりがいを感じた」と話しました。

◀園児と工作して、保育士体験をする生徒



小さな子ガメを受け入れる

アカウミガメの子ガメ受け入れ式が9月18日、御前崎小学校で開かれました。

今回受け入れたのは、前日にふ化した子ガメ10頭。子ガメは4・5年生を中心に約9カ月間飼育され、来年6月ごろに放流される予定です。難波風花さん(女岩区)は「子ガメが来ることを楽しみにしていた。大切に育てます」と笑顔を見せました。

◀受け入れた子ガメを飼育小屋の水槽に移す児童



給食戦隊5大栄養レンジャー

さくらこども園の給食調理を担う株式会社ジーエスエフの調理員6人が9月19日、「給食戦隊5大栄養レンジャー」のショーを実施しました。

調理員である博林小友梨さん(佐倉一区)の「子どもたちに給食を楽しんでもらいたい」という思いからショーが実現。今後、毎月19日の「食育の日」は、カラー調理服を着用して、給食を作ります。

◀それぞれの栄養素を説明して決めポーズをとるレンジャー



下水神社のしめ縄8本新調

池新田地区有志5人が9月29日、下水神社に手作りのしめ縄を飾りつけました。

新藁を用いて約1カ月かけて製作されたもので、秋の例祭に向けて毎年新調します。一番大きなもので高さ約5mほどになる鳥居に3.7mのしめ縄が飾りつけられました。早馬彰夫さん(東町)は「今年も無事取り付けることができて良かった」と感慨深く見つめました。

◀しめ縄が新調された下水神社の鳥居



交通安全の願いを込め宣誓

市交通安全会は9月29日、市民を代表して「交通安全宣誓書」を菊川警察署の岩瀬盛一署長へ提出しました。

15,244人の市民が交通安全の模範になることを誓い、宣誓書に署名しています。同会の萩原弘充会長は「子どもから高齢者まで安心して暮らすことができるまちとなることが私たち市民全員の願いです」と話しました。

◀岩瀬署長に宣誓書を提出する萩原会長



雑がみをリサイクルしよう

市は9月30日、「雑がみリサイクルアクション」の協力校である御前崎中学校に、同校が回収した90kgの雑がみから作られるトイレットペーパー100個を贈呈しました。雑がみが資源としてリサイクルできることを啓発する取り組みで、雑がみ回収にはコアレックス信栄株式会社が協力。環境委員長の小栗良介さん(薄原区)は「活動が形となりうれしい」と話しました。

◀同校のほか、浜岡東小、白羽小、御前崎小で実施されました



高塚きよさん100歳の祝い

10月1日に100歳の誕生日を迎えた高塚きよさん(薄原区)に、下村市長から祝い状や花束が贈されました。

習字が得意なきよさん。白羽小学校などで教員として務め、結婚後は75歳まで農家としてお茶やスイカ、サツマイモなどを作っていました。きよさんは「こんなに長生きできるなんて驚き。たくさんの人々に祝ってもらい夢のようです」と笑顔を見せました。

◀5人兄弟の長女で、3人の子どもに恵まれたきよさんとご家族



サーフィン全国大会に出場

5月の支部予選で優秀な成績を収め、10月11日から18日にかけて牧之原市で開かれる「第59回全日本選手権大会2025」に出場する9人のうち6人が10月1日、下村市長に抱負を語りました。

同大会には、全国から各クラス100人～150人ほどの選手が出場します。下村市長は、「市から9人も出場するのはとても誇らしい。全力を尽くしてきてください」とエールを送りました。

▲それぞれのボードを持って抱負を語った選手

【出場クラスと選手名】

▶ショートボードメン	ボーイズクラス(13～16歳)	渡邊英路さん(新谷区・御前崎中3年)
▶ショートボードメン	シニアクラス(35～44歳)	戸河里宗平さん(大山区)
▶ショートボードメン	シニアクラス	増田龍也さん(白浜区)
▶ショートボードメン	マスタークラス(45～51歳)	山口高志さん(薄原区)
▶ショートボードメン	マスタークラス	植田有記さん(広沢区)
▶ショートボードメン	マスタークラス	岩堀靖さん(佐倉一区)
▶ショートボードメン	カフナクラス(59歳以上)	小野田政宏さん(女岩区)
▶ボディボードウェイメン	シニアクラス	大瀬美香さん(大山区)
▶ボディボードウェイメン	グランドマスタークラス(52～58歳)	柴田真海子さん(西側区)



収穫体験で実りの秋を実感

浜岡北小学校の5年生25人が10月3日、あらさわふる里公園職員の指導のもと稻刈りを体験しました。

収穫した稲は、5月に自分たちで植えたもの。収穫したもち米は、授業の中で調理して食べる予定です。吉野航世さん(新野西)は「4カ月でここまで成長するなんて驚きました。稲を鎌で刈るのが楽しかった」と笑顔を見せました。

◀刈った米を束ね、「稻架」にかけて天日干しさせる



火事からまちを守るために

防火意識の高揚と火災予防の普及を目的とした防火ポスターコンクール表彰式が10月8日、市消防署で執り行われました。

市内の小学生から応募された47作品のうち7作品を表彰。市長賞を受賞した野上優乃さん(東町)は「火事が起きたときも安全に行動できるように描きました」とポスターに込めたメッセージを話しました。

◀応募作品は11月7日から18日まで図書館アスパルに展示



いもじいさんをしのび法要

御前崎にサツマイモ栽培を広めた江戸時代中期の先人で、「いもじいさん(甘藷翁)」の愛称で親しまれる故大澤権右衛門の遺徳をしのぶ祥月忌法要が10月9日、海福寺で営まれました。

甘藷翁祥月忌の実行委員長でもある下村市長は、「地域に根付くいもじいさんの功績に感謝し、後世に伝えていきたい」と話しました。

◀大澤権右衛門の功績を称える顕彰碑に焼香する参列者



秋空に響く祭り囃子の音色

秋の例祭に合わせ、屋台の引き回しが、10月11日から12日にかけて市内全域で実施されました。秋の収穫への感謝や五穀豊穣などの願いを込めるものです。

地域ごとに受け継がれている伝統的な祭り囃子や掛け声に加え、地区自慢の屋台がまちをにぎわせました。住民が一体となって祭りを支え、地域の活力を感じさせる光景が広がりました。

◀祭り囃子や掛け声に合わせて提灯を振りながら練り歩く住民



市民の健康増進などに協力

明治安田生命保険相互会社は10月16日、「地元の元気プロジェクト」の一環で、市に80万6,900円を寄付しました。

同社からの寄付は5回目で、総額266万800円になります。寄付金は同社の社員によるもので、市民の健康福祉に活用されます。同社菊川営業所の永尾健登所長は「市民の健康に役立てばうれしい」と話しました。

◀下村市長は「市民が健康に暮らせるように努めます」と話しました



爽やかな汗流し完走目指す

「第15回御前崎マリンパークマラソン」が10月19日に開催され、市内外から793人のランナーが参加しました。参加者は昨年度から300人増加しました。

マリンパーク御前崎を出発し、御前崎海岸や港を走るなど、まちの魅力を凝縮した自慢のコース。参加者は潮風を感じながら、1kmから10kmの各コースを元気に駆け抜けました。

◀力強い走りでゴールを目指すランナー

輝け！元気っ子



浜岡東小学校6年2組

酒井 瑞衣さん

努力は、裏切らない

僕が大切にしたい言葉は、「努力は、裏切らない」である。サッカーの練習でも言われることがあり、努力の大切さを感じている。

「努力をしないとプロサッカー選手になれない」と言われて、危機感を感じた。5年生のころ、上級生の大きな大会に出た。それは全国につながる大会であり、決勝まで仲間と協力し、気持ちを一つにみんなで勝ち抜いてきた。しかし、決勝で負けてしまった。その原因是、まだ自分の努力、練習が足りないの

だと思った。そして、僕は悔しくて練習をたくさんした。2ヵ月後の県1位を争う大会でも準決勝で負けた。相手の方がたくさん努力をしていたのだと思った。そこで、努力には限界はないと思った。人一倍努力をしようと思い、努力を少しずつ積み重ねた。そうしたら、試合でいつも以上にいいプレーができると感じた。

僕の夢は、プロサッカー選手。「努力は、裏切らない」この言葉を信じて頑張りたい。

学校へようこそ

たのしいね もっとやってみよう！

涼しくなり始めた9月後半からリレーやボール遊び、トカゲやバッタ探し、遊具に挑戦など戸外で思い思いの遊びを楽しみ始めた子どもたち。10月中旬には大好きなお祭りごっこも始まりました。夏の間、暑さにより戸外で遊ぶことができなかった分を取り戻すかのように子どもたちの元気な声が園庭に響き渡っています。

はまおか幼稚園になって2年目に入りました。人懐っこく好奇心旺盛で意欲のある子どもた

ち。本年度は「たのしいね もっとやってみよう！」という重点目標に向かって、園児全員が共通の体験を通して心も体も動かしながら思いきり遊ぶ子を目指しています。

これから秋本番。行事だけでなく、日常のちょっとした出来事が共通の経験となり、更に楽しい遊びへつながっていくことを意識し、「楽しいからもっとやってみたい」という気持ちにつながる保育を展開していきます。



▶はまおか幼稚園
園児数 71人
園長 栗山久子

特産品を使った
健康でおいしい食事をどう！

RECIPE CONTEST

おまえざきレシピコンテスト受賞作品



使用している特産品：サツマイモ、シラス

材料（2人分）

サツマイモ.....100g	空心菜.....2本
釜揚げシラス…大さじ4	スキムミルク…大さじ1
卵.....1個	野菜ブイヨン.....1個
牛乳.....大さじ2	オリーブ油.....少々
人参.....1/4本	

まぜまぜやき

一般の部 優秀賞レシピ
考案者 岡村 たづ子さん

コンテストテーマ ▶朝食(令和3年度) 野菜(令和4年度) 減塩(令和5年度)

「旬」を
食べやすいサイズで
いただきます♪

作り方

- サツマイモは1cm角に切り、耐熱皿に入れラップをして1分50秒レンジにかける。ラップをしたままおいておく。
- ボウルにオリーブ油以外の材料を入れ混ぜ合わせる。
- フライパンにオリーブ油を熱し、小さめサイズで焼いたら完成♪

照会 健康づくり課 ☎0537⑧1123

ENVIRONMENT

ECOタネ



御前崎市での脱炭素支援とは？

市では、脱炭素に向けた取り組みを応援するため、市内の事業者および個人事業主を対象とした補助金を本年度より新設しました。

市が指定した脱炭素経営支援融資を対象として、融資実行に伴う手数料を補助します。詳細は市ホームページをご確認ください。

金融商品名	金融機関名
サステナビリティ・リンクローン	静岡銀行
しづおかGXサポートローン	静岡銀行
シマカケ・サステナビリティ・リンク・ローン	島田掛川信用金庫
サステナビリティ・リンク・ローン	浜松いわた信用金庫
GX支援資金(目標設定型)	浜松いわた信用金庫



▲市ホームページ

照会 GX推進課 ☎0537⑧1134

令和8年4月から 水道料金下水道使用料を改定します

照会 上下水道課 ☎ 0537 85 1126

① 改定の背景と経緯

上下水道事業は、市民活動、経済活動を支える最も重要なライフラインであり、常に安全・安心な水を安定的に供給していくとともに、快適な生活環境の確保や河川・水路の水質保全など、幅広い役割を果たすことが求められています。一方で、近年の少子高齢化や人口減少などにより上下水道料金の収入が減少傾向にあり、加えて老朽化する施設の維持更新・耐震化に多額の費用が必要となり、独立採算制の確保が図られていない状態となっています。

そこで、令和3年4月に学識経験者や企業・市民代表による「上下水道料金等審議会」を設置し、適正料金を協議しました。答申を踏まえ、急激に負担が増えないよう3年を1期とし、水道料金は3期、下水道使用料は2期に分けて段階的に料金改定をすることが決定しました。

令和8年4月に第2期の料金改定を実施させていただきます。厳しい社会経済情勢の中での料金改定であり、市民の皆さんにはご負担をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いします。

② 新旧料金比較表(2ヶ月・税込)

水道料金・下水道使用料は、「基本料金・使用料」と使用した水量に応じて定められる「従量料金・使用料」の合計で算出され、現在と変わらず2カ月に1回検針し、2カ月分をまとめて請求します。

◆水道料金表

用途	メーター口径 (mm)	基本 水量 (m³)	現行		改定後	
			基本料金(円)	従来料金(1m³につき)	基本料金(円)	従量料金(1m³につき)
一般用	13	20	2,266		2,596	
	20		2,354		2,640	
	25		2,794	20m³を超える分 50m³まで 156.2円	3,586	20m³を超える分 50m³まで 171.6円
	30		3,520	50m³を超える分 100m³まで 165円	4,994	50m³を超える分 100m³まで 182.6円
	40		4,862	100m³を超える分 200m³まで 174.9円	7,876	100m³を超える分 200m³まで 199.1円
	50		7,348	200m³を超える分 187円	13,090	200m³を超える分 221.1円
	75		13,486		26,202	
	100		22,154		44,638	

◆下水道使用料金表

基本使用量 (m ³)	現行		改定後		標準的な家庭(口径13mm、 使用量が2カ月で40m ³)の場合
	基本料金(円)	従量使用料(1m ³ につき)	基本料金(円)	従量使用料(1m ³ につき)	
20	1,870	20m ³ を超える分 50m ³ を超える分 100m ³ を超える分 200m ³ を超える分	2,310	20m ³ を超える分 50m ³ を超える分 100m ³ を超える分 200m ³ を超える分	3,810円(税込) 4,686円(税込) ▼ 876円増

◎ 上記水道料金、下水道使用料の計算方法(口径13mmで、2カ月で40m³使用の場合)

水道料金 2.596円(基本料金) + 20m³(従量分) × 171.6円/m³ = 6.028円

※1円未満の端数は切り捨てとなります。

3 改定の時期

- 令和8年4月1日から新料金が適用されます。4月1日以降に使用を開始した場合は、初回検針時から新料金が適用されます。
 - 令和8年3月31日以前からご使用の場合は、下表のように「偶数月検針のお客さまは6月」、「奇数月検針のお客さまは7月」の検針時から新料金が適用されます。

料金改定 令和8年4月1日						
検針月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
偶数月検針	● 検針日	旧料金	● 検針日	新料金	● 検針日	
奇数月検針		● 検針日	旧料金	● 検針日	新料金	● 検針日



山口 愛可 さん
戸塚 凜 さん
河守 茉莉 さん



掛川西高校音楽部の
活動はこちらから

第80回関東合唱コンクールで銀賞を受賞
掛川西高等学校音楽部

掛川西高等学校音楽部が8月に開かれた「第80回関東合唱コンクール静岡県大会」で、校部門Aで金賞を受賞し、9月20日に新潟県で開かれた「第80回関東合唱コンクール」に出場した。

同部には、1年生で市内出身の山口愛可さん(浜岡中学校卒業)、河守茉莉さん(佐倉一区)、戸塚凜さん(早苗町)が所属している。

う。3人は「難易度は高かつた
ですが、中学校行事の合唱コ
ンクールでは歌わない曲だつ
たのでとても楽しかったで
す」とそろって笑顔を見せる。
県内コンクールで、金賞常連
校だという同部。その分、県大
会でのプレッシャーは大きかつ
たという。「関東大会に出場が決
まつたときは『安心した』と顔
をほころばせる凜さん。
関東大会の高校部門Aに
は、26校が出場。愛可さんは
「同じ志をもつ高校生がこれ
だけいるのかと感動しまし
た。レベルの高い学校の合唱
を聞いて学びが多くつたで
す」と胸の高鳴りを話す。

かわいい おまえさきのたから

11月
生まれの元気な子



やました りょうせい
山下 竜誠くん 3歳
(中町)



かたやま しゅうすけ
片山 栄佑くん 2歳
(上比木)



すずさ かいと
鈴木 凱斗くん 2歳
(東町)



ひだか はる
日高 陽琉くん 2歳
(中町)



てるやま はやと
照山 隼冬くん 1歳
(中町)

かわいい笑顔を募集します。

対象:1月生まれの1歳～3歳児で、本コーナーへ掲載されたことのない子

申込期間:12月1日㈪ 8時15分～19日㈮17時(先着8枚)

申し込みフォーム▶

照会:総務課

☎0537(85)1132



かわいいな～！
すくすく元気に
大きくなつてね！

～食のまち御前崎～

毎月19日は食育の日！
プラス1品でバランスのよい朝食を

ナッツの食感もよく、
朝から元気の出るサラダです

サツマイモヨーグルトサラダ

材料（4人分）

サツマイモ	1本(320g)
リンゴ	80g
◆マヨネーズ	大さじ1
◆プレーンヨーグルト	100g
塩	2g
ナッツ(塩なし)	20g
はちみつ	適量

► 1人分 = 177kcal
► 食塩相当量 0.7g

作りかた

- サツマイモは、皮付きのまま1cm程度の角切りにし、ゆでておく。リンゴは薄いいちょう切りにする。
- ①と◆をよく混ぜ合わせ、塩で味を調える。
- ナッツを碎いて、②と混ぜる。
- 最後にはちみつをかけて出来上がり。